

県内の遺跡・遺物 47

## 佐渡奉行所跡 出土品一括 (平成12年 県指定)

遺物出土地：佐渡市相川広間町1 - 1 ほか

佐渡奉行所は、慶長9年(1604)に初代佐渡奉行の大久保長安により設置され、明治元年(1868)に廃止されるまでの約260年間、江戸幕府の佐渡一国支配と佐渡金山経営の拠点として機能しました。平成6年に「佐渡金山遺跡」の一部として国史跡に指定され、平成6～10年にかけて保存整備事業に伴い発掘調査されました。

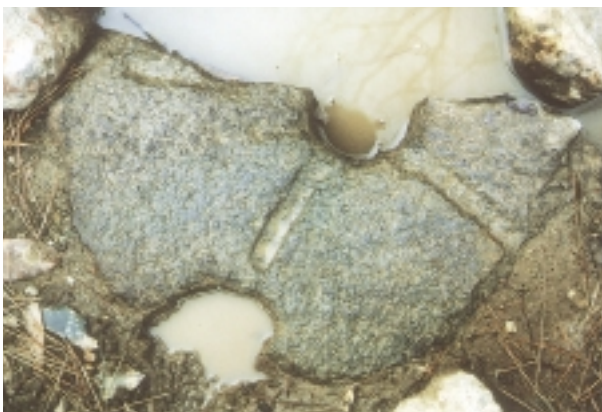
発掘調査では、大御門から役所玄関に至る石畳や役所礎石の一部、武具土蔵礎石、井戸などの遺構、陶磁器、瓦、木製品などの生活用具とともに、多数の金銀精錬関連遺物が出土しました。このうち鉛の延べ板、荷札木筒、蓋状・棒状土製品、羽口(鞆の送風口)、扣石、石磨、舩(鉛石の粉碎過程に使用する容器)、桶、箆、鍍(鉛石を溶錬する際に生ずる滓)の金銀精錬関連遺物計471点が県考古資料に指定されました。特に、下磨に物配り(大きな溝)が穿たれている石磨(通常物配りは上磨に存在)、四角い穴がある扣石の形態は佐渡特有と考えられています。

鉛山関連遺跡の調査例は全国的にも未だ少なく、出土遺物も極めて少ないため、佐渡奉行所跡出土の金銀精錬関係遺物は、わが国における近代以前の製錬技術を考察する際の貴重な資料といえます。

(写真・資料提供 佐渡市教育委員会)



鉛の延べ板出土状況



物配りがある上磨



四角い穴が穿たれている叩石



舩

## 埋文にいがたNo. 49

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団  
〒956-0845 新津市金津93番地1  
TEL (0250) 25-3981  
FAX (0250) 25-3986  
e-mail: niigata@maibun.net  
URL: <http://www.maibun.net>  
印刷 新高速印刷(株)